

【学校経営】について

- 4つの評価項目については、保護者、職員ともに3.6以上と高い評価でした。また、保護者の評価は全ての項目について0.1～0.2ポイントの上昇がみられました。
- 本校の存在意義を示すためには、本校が地域、或いは県内にとって必要とされていることを示す必要があります、それは、結果的に本校への入学希望者がどれだけいるかということに表れてきます。今後も継続して、積極的に本校の教育に対する考え方を、機会があるごとに外部へ発信していきます。

【危機管理】について

- 4つの評価項目については、保護者の評価が3.6以上、職員の評価は3.4以上でした。
- 「学校は、災害への備えとして、計画的に備蓄品を準備している」については、昨年度と比較し、保護者の評価は同程度でしたが、職員は0.3ポイント下がりました。今後も保護者と連携を図りながら、非常食の管理等を継続していきます。

【教育活動】について

- 15の評価項目については、保護者の評価が3.7以上、職員の評価は3.2以上でした。また、保護者の評価は9つの項目について0.1～0.3ポイントの上昇がみられました。
- 「学校は、キャリア教育全体計画を意識しながら日々の指導を行っている」という項目は、現在、校内研究においてキャリア教育全体計画を見直し、授業改善を図っていている結果、昨年度と比較すると保護者は0.1ポイント上昇し3.8、職員は0.3ポイント上昇し3.2となりました。今後も校内研究を継続し、キャリア教育の充実につなげていきます。
- 「学校は、卒業後の生活が豊かになるように、体験学習などを適切に実施している」については、保護者の評価が0.3ポイント上昇し3.9、職員の評価が0.1ポイント上昇し3.6と高い評価を得ました。教育活動がコロナ禍以前の状態に戻ったことが大きな要因だと思われます。今後も各部における校外学習等の充実を図っていきます。

【教育環境】について

- 4つの評価項目については、保護者の評価が3.6以上、職員の評価は3.5以上と、どちらの評価も昨年度の評価と大きくは変わりませんが高い評価でした。
- 「学校は、教育活動に必要な施設・設備を整備している」については、昨年度と大きく評価は変わりませんが、今年度は、プール解体に伴う運動場の拡大、屋上防水工事等、大規模な改修を行っています。今後も児童生徒が安心・安全に学べる環境を整えるために、教育環境の充実を図っていきます。
- 「学校は、校舎内外の美化に努めている」については、昨年度と大きく評価は変わりませんが、児童生徒の清掃活動、職員作業、大学の協力を得ての除草作業等、今後も美化活動に努めていきます。

【開かれた学校】について

- 6つの評価項目については、保護者の評価が3.7以上、職員の評価は3.5以上とどちらも高い評価でした。また、保護者の評価は5つの項目について0.1ポイントの上昇がみられました。
- 今年度は欠席・遅刻連絡や学校評価集約のオンライン化を図り、学校だよりや各種案内など積極的に一斉メールを活用し配信した結果だと思われます。今後も、円滑に情報のやり取りができるように、ICTの効果的な活用を推進していきます。

学校関係者評価

※令和6年2月21日（水）に開催した学校評議員会及び学校関係者評価委員会で御意見をいただきましたので、主なものを御紹介します。

- 学校評価の結果からも学校に対する保護者の理解が伝わる。長大特支の強みを生かし、誇りをもって教育活動を実践していただきたい。
- コロナ禍以前の学校評価と比較すると、ほぼすべての項目で大幅に評価が向上している。先生方の自己評価が厳しいのは分かるが、過去と比べると格段に評価が上がっている点に一人一人の先生が自信をもって教育活動を展開してほしい。
- ヒヤリハットについては、地域との連携が必要なケースがあれば、いつでも伝えてほしい。自治会を通じて近隣地域住民にお願いできることもある。
- 道徳心や道徳的な態度は社会人になって、とても大切だと感じる。今後も道徳教育を尊重し実践を積み重ねてほしい。
- 附属特支の卒業生の保護者に附属特支で学んで良かったことを尋ねると、「校外に出て学ぶ機会が多かったことが良かった」とよく言われる。校外での経験が卒業後の行動範囲の広がりにつながっている。また、附属特支は先輩後輩、保護者同士などのつながりも他校と比べて強い。このような学校の強みを今後も生かしてほしい。

令和5年度 長崎大学教育学部附属特別支援学校 学校評価アンケート結果

回収率 職員 100%
保護者 96.2%

分野	番号	具体的な評価項目	職員								保護者							
			小学部		中学部		高等部		全体		小学部		中学部		高等部		全体	
			R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4
学校経営	1	学校は、学校の使命や校訓、学校教育目標などを踏まえて学校経営目標を設定している。	3.7	3.4	3.7	3.8	3.7	3.4	3.7	3.6	3.9	3.6	3.8	3.6	3.8	3.6	3.8	3.6
		今後の方向性	○大学と連携し、附属特別支援学校としての使命を果たすべく、具体的に実践的な目標を設定していく。															
	2	学校は、学校経営目標や実情、ニーズなどを踏まえて本年度努力事項を設定している。	3.6	3.3	3.7	3.9	3.7	3.6	3.6	3.7	3.8	3.6	3.8	3.8	3.8	3.6	3.8	3.6
		今後の方向性	○各部、各分掌部等が実践し評価できる具体的な目標を設定していく。															
3		部は、学校経営目標や本年度努力事項、部の実態などを踏まえて部経営方針を設定し、部の運営を行っている。	3.7	3.6	3.5	3.8	3.6	3.6	3.6	3.7	3.8	3.7	3.8	3.6	3.9	3.6	3.8	3.7
		今後の方向性	○学部目標達成に向けた具体的方策・努力事項を設定し、学期ごとに振り返りを行い課題を明確にし各部の運営を行う。															
4		学級は、学校経営目標や本年度努力事項、部経営方針、学級の実態などを踏まえて学級経営方針を設定し、学級の運営を行っている。	3.7	3.6	3.5	3.5	3.7	3.7	3.6	3.6	3.9	3.7	3.8	3.7	3.9	3.7	3.8	3.7
		今後の方向性	○学級ごとの重点目標及び指導の方針を明確に示して、副担任と連携しながら学級運営を行う。															
組織運営	5	学校は、効果的・効率的に業務が遂行できるように校務分掌を組織している。	3.3	2.7	3.2	3.1	2.7	2.9	3.0	3.0	/	/	/	/	/	/	/	/
		今後の方向性	○今後も校務のICT化が進むことを見据え、人的配置や組織配置を検討していく。また、Teamsを活用し業務の効率化を進めていく。															
	6	分掌部は、学校経営目標や本年度努力事項、学校の実情などを踏まえて分掌部方針を設定し、分掌部の運営を行っている。	3.6	3.2	3.5	3.5	3.6	3.6	3.5	3.5	/	/	/	/	/	/	/	/
		今後の方向性	○今後も具体的な分掌部方針を設定し、他分掌部との連携を図りながら計画的な運営に努める。															
	7	学校は、目的に応じた委員会を設置し、適切に運営している。	3.6	3.2	3.5	3.5	3.2	3.2	3.4	3.3	/	/	/	/	/	/	/	/
		今後の方向性	○必要な委員会は適宜開催されている。今後は委員会の内容等を踏まえ、Teams等による情報共有を活用し会の時間短縮などに努める。															
	8	学校は、計画的に定時退庁日を設定している。	3.3	3.0	3.7	3.8	3.7	3.8	3.5	3.7	/	/	/	/	/	/	/	/
		今後の方向性	○今後も月1回の定時退庁日に加え、各部毎月2回の定時退庁日（マイライフデイ）を設定する。また、普段から定時に退庁できるよう業務改善を検討していく。															
	9	学校は、文書や金銭等の管理や処理を適切に行っている。	3.9	3.2	3.5	3.4	3.8	3.8	3.7	3.5	/	/	/	/	/	/	/	/
	今後の方向性	○分掌部ごとの文書整理と管理を継続するとともに、電子決裁等、Teamsによる効率化を進めていく。																
危機管理	10	学校は、避難訓練などを通して、児童生徒の安全・防災に関する指導を適切に行っている。	3.6	3.4	3.7	3.8	3.6	3.7	3.6	3.6	3.8	3.8	3.9	3.7	3.9	3.9	3.9	3.8
		今後の方向性	○今後も避難訓練（火災・地震）の実施及び職員研修（不審者）を通して、職員の安全・防災への意識を高めていく。なお、防災用のヘルメットの購入について事務室と連携しながら進めていく。															

令和5年度 長崎大学教育学部附属特別支援学校 学校評価アンケート結果

分野	番号	具体的な評価項目	職員								保護者							
			小学部		中学部		高等部		全体		小学部		中学部		高等部		全体	
			R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4
危機管理	11	学校は、危機管理マニュアルを整備するとともに、必要に応じて見直しを行っている。	3.7	3.0	3.7	3.6	3.8	3.9	3.7	3.7	3.8	3.5	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.7
	今後の方向性	○今年度の発生した重大事故を検証し、現在、危機管理マニュアルを見直し中である。年度当初に全職員に周知するとともに、職員がすぐにマニュアルを確認できる環境をつくっていく。																
	12	学校は、災害への備えとして、計画的に備蓄品を準備している。	3.4	3.1	3.3	3.6	3.4	3.8	3.4	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.9	3.8	3.8
今後の方向性	○保護者と連携を図りながら、非常食の管理等を継続していく。																	
13	学校は、事故やヒヤリハットが起きた際には、職員間で情報を共有し、再発防止に努めている。	3.9	3.2	3.5	3.9	3.7	3.8	3.7	3.9	3.7	3.5	3.6	3.8	3.7	3.7	3.6	3.7	
	今後の方向性	○状況を部の職員で確認し、原因・今後の対策を速やかに全職員で共有する。職員一人一人が意識をもって行動し、再発防止に努める。																
教育活動	14	学校は、児童生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階並びに学校や地域の実態等を十分考慮して、適切な教育課程を編成している。	3.6	3.2	3.5	3.4	3.3	3.6	3.5	3.5	3.7	3.7	3.6	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7
	今後の方向性	○年度末に各学部ごとに教育課程についての課題を検討し、検討部会を実施しながら教育課程の見直しを行っている。																
	15	学校は、教育課程に基づいて適切に教育活動を実践している。	3.7	3.4	3.5	3.5	3.6	3.8	3.6	3.6	3.8	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7
		今後の方向性	○単元計画の活用を通して実践と反省を繰り返し教育課程に基づいた教育活動を行う。次年度の教育課程に反省点や課題を反映させる。															
	16	学校は、前年度の反省を生かして、学校行事の時期や回数、内容などを設定している。	3.7	3.2	3.2	3.8	3.6	3.7	3.5	3.7	3.7	3.7	3.8	3.7	3.8	3.6	3.7	3.7
		今後の方向性	○行事のあとに担当者を中心に、見直しを行うようにしている。															
	17	学校は、個別の指導計画を作成し、児童生徒の特性などに配慮しながら個に応じた指導を行っている。	3.6	3.6	3.5	3.8	3.7	3.8	3.6	3.8	3.9	3.7	3.6	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8
		今後の方向性	○目標や指導内容等を職員間で共通理解し、個に応じた指導がさらに充実するようにする。															
	18	学校は、日々の指導の中で、道徳教育に関する指導を適切に行っている。	3.4	3.1	3.5	3.5	3.0	3.1	3.3	3.4	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.7	3.8	3.7
		今後の方向性	○小（3組）、中学部においては時間を特設し、高等部においては各教科等を合わせた指導の中で道徳の指導内容に沿った内容を進めている。また、全学部教育活動全体において道徳性を養うことを意識した指導を行っている。今後もより道徳教育全体計画を意識しながら指導を進める。															
19	学校は、児童生徒の実態を的確に把握し、必要な指導を計画的に行っている。	3.7	3.1	3.5	3.6	3.7	3.8	3.6	3.7	3.8	3.7	3.6	3.7	3.8	3.8	3.7	3.7	
	今後の方向性	○複数教員での児童生徒の実態の共有や各教科のチェックリスト、SSB（キャリアパスポート）などで実態把握に努める。自立活動の情報整理シートについては、各部署で確実に活用して実態把握を行うようにする。																
20	学校は、キャリア教育全体計画を意識しながら日々の指導を行っている。	3.3	2.9	3.5	3.3	3.0	2.8	3.2	2.9	3.8	3.7	3.8	3.6	3.8	3.7	3.8	3.7	
	今後の方向性	○全体計画や各学部の育てたい力を踏まえ、各学部に応じた実践を行っていく。																

令和5年度 長崎大学教育学部附属特別支援学校 学校評価アンケート結果

分野	番号	具体的な評価項目	職員								保護者							
			小学部		中学部		高等部		全体		小学部		中学部		高等部		全体	
			R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4
教育活動	21	学校は、「体罰」や「不適切な言動」によらない指導を行っている。	3.9	3.7	3.7	3.8	3.9	4.0	3.8	3.8	3.8	3.7	3.9	3.9	3.9	3.8	3.9	3.8
		今後の方向性	○児童生徒に対する言葉と行動については職員間で共有し、指導方法について共通理解を図っている。今後もさらに継続して行う。															
	22	学校は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業改善を行っている。	3.1	3.3	3.5	3.5	3.0	3.4	3.2	3.4	3.9	3.6	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.7
		今後の方向性	○新たなテーマでの研究を行っているが、これまで行っていた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた研究も一部踏まえながら進めていきたい。															
	23	学校は、学習内容や教材を工夫しながら指導を行っている。	4.0	3.7	3.8	3.9	3.7	3.7	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.7	3.8	3.7	3.9	3.7
		今後の方向性	○教師が作成・使用した教材を共有して、利活用しながら指導の充実を図っていく。ICT機器も効果的に活用していくために、職員の研修を充実させていく。															
	24	学校は、進路実現に向けて現場実習や進路に関する学習を適切に行っている。	3.9	3.6	3.7	3.5	3.7	3.9	3.7	3.8	3.9	3.7	3.8	3.7	3.9	3.8	3.8	3.7
		今後の方向性	○学級の先生方を中心に指導を積み重ねてくださっている賜物だと思う。今後は、キャリア教育全体計画やSSBを活用し、進路指導をより充実させていきたい。															
	25	学校は、進路実現ができるように自己選択・自己決定を促しながら進路指導を行っている。	3.6	3.4	3.7	3.5	3.7	3.9	3.6	3.8	3.9	3.6	3.8	3.5	3.9	3.8	3.8	3.7
		今後の方向性	○来年度は、SSBを全校化していくため、本人の自己理解が進むとともに、家庭の協力も得られると思う。来年度もより高評価を得られるようにSSBの効果検証（評価）も行っていきたい。															
26	学校は、卒業後の生活が豊かになるように、体験学習などを適切に実施している。	3.7	3.7	3.7	3.5	3.6	3.4	3.6	3.5	3.9	3.6	3.8	3.7	3.9	3.6	3.9	3.6	
	今後の方向性	○様々な体験・経験ができるよう、各部体験的な学習を計画・実施している。また、外部講師による授業も積極的に実施していく。																
27	学校は、生活年齢等に応じて、保健指導を適切に行っている。	3.1	2.9	3.7	3.4	3.6	3.6	3.5	3.5	3.8	3.6	3.7	3.6	3.9	3.8	3.8	3.7	
	今後の方向性	○ブラッシング指導の染め出し結果や、各検診結果等に基づき、家庭や関係機関と連携した歯科及び肥満に関する継続的な保健指導を実施する。																
28	学校は、共生社会の実現に向けて、交流及び共同学習を計画し、学校間交流や居住地校交流を適切に実施している。	3.9	3.1	3.5	3.5	3.6	3.2	3.6	3.5	3.7	3.7	3.8	3.8	3.5	3.6	3.7	3.7	
	今後の方向性	○小中学部は、附属小・中学校と交流ができた。また、小学部の希望の児童は、それぞれの実態に応じた時間を調整し居住地校交流を実施することができた。																
教育環境	29	学校は、教育活動に必要な施設・設備を整備している。	3.3	3.2	3.3	3.5	3.7	3.2	3.5	3.4	3.5	3.7	3.6	3.8	3.8	3.7	3.6	3.7
		今後の方向性	○補修や改善は事務室と大学で連携し適宜行っていく。大規模改修については大学への予算要求を継続する。															
	30	学校は、施設・設備の安全点検を定期的実施し、問題点があれば早急に対応している。	3.6	3.3	3.3	3.6	3.9	3.8	3.6	3.7	3.6	3.6	3.7	3.8	3.9	3.8	3.7	3.7
今後の方向性		○毎月実施している巡視記録や年3回の安全点検を継続して実施していく。今後も事務室に協力いただき、問題点があれば早急に対応していく。																

令和5年度 長崎大学教育学部附属特別支援学校 学校評価アンケート結果

分野	番号	具体的な評価項目	職員								保護者							
			小学部		中学部		高等部		全体		小学部		中学部		高等部		全体	
			R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4
教育環境	31	学校は、校舎内外の美化に努めている。	3.4	3.6	3.7	3.6	3.8	3.6	3.6	3.6	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.8	3.9	3.9
		今後の方向性	○今後も日頃の環境整備及び長期休業中や行事前等の職員作業を継続していく。また、地域に影響が及ばないように、状況に応じて臨時で職員作業を行う必要性も感じている。															
32	学校は、校内の掲示を工夫して行っている。	3.4	3.6	3.7	3.4	3.3	3.4	3.5	3.5	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	
	今後の方向性	○行事や学習内容、季節に応じて各部ともに掲示の工夫を行っている。今後も学習内容と関連をもたせながら掲示の工夫や情報発信を行っていく。																
専門性の向上	33	学校は、カリキュラム・マネジメントの確立に向けて調査・研究を行っている。	3.4	3.3	3.3	3.5	2.9	3.3	3.2	3.4	/	/	/	/	/	/	/	/
		今後の方向性	○研究成果であるカリキュラム・マネジメントが教育改善につながるようにするために、必要に応じて教育課程を扱う分掌と連携を図るようにしたい。															
	34	学校は、人権に関する研修を適切に実施している。	3.1	3.1	3.7	3.5	3.6	3.7	3.5	3.5	/	/	/	/	/	/	/	/
		今後の方向性	○今後も長期休業中に研修を実施していくとともに、ポスター等を掲示し、職員一人ひとりの人権に対する意識を高めていく。															
	35	学校は、福祉制度などに関する研修を実施して職員の理解を深めている。	3.3	2.9	3.2	3.3	3.0	3.6	3.1	3.4	/	/	/	/	/	/	/	/
		今後の方向性	○進路だよりや夏季休業中の研修をとおして、福祉制度について情報提供を行う。先生方からも二次元コードなどを使って知りたい情報を把握するようにする。															
	36	学校は、教員として必要な研修（現職教育）を計画的に実施している。	3.3	2.9	3.3	3.5	3.3	3.4	3.3	3.4	/	/	/	/	/	/	/	/
		今後の方向性	○多くの分掌で計画と実施を行ってもらっている。時期や回数など全教員の声を把握し、調整を図るようにしていきたい。															
37	学校は、授業研究などを通して授業力の向上に努めている。	3.7	2.9	3.5	3.6	3.9	3.8	3.7	3.6	/	/	/	/	/	/	/	/	
	今後の方向性	○昨年度より、年に2～3回実施している。今後もこのペースで実施していきたい。																
38	学校は、効果的な教育実地研究の実施に向けて、課題の分析と改善を行っている。	3.4	2.9	3.3	3.5	3.3	3.7	3.4	3.5	/	/	/	/	/	/	/	/	
	今後の方向性	○職員や学生の声を聞きながら、学生が教員になりたいと思えるような充実した実習となるよう工夫していく。教員学生ともに効果的に実施できるよう実施方法や内容を改善していきたい。																
39	教員は、教育センターの研修講座や各種研修会に参加し、専門性の向上に努めている。	3.1	2.7	2.8	3.4	3.0	3.3	3.0	3.2	/	/	/	/	/	/	/	/	
	今後の方向性	○研修機会を設ける機会が少ないとの声から、一度全教員に対してアンケートを実施し、全教員が研修の受講機会を得ることができるような体制を構築したい。																
開 学 か 校 れ た	40	学校は、教職員や保護者等に対して学校経営方針を明確に示している。	3.7	3.3	3.5	3.6	3.6	3.7	3.6	3.6	3.8	3.6	3.8	3.7	3.9	3.7	3.8	3.7
		今後の方向性	○年度初めに本校教職員、保護者に対して行い、学校公開や体験入学等で外部へも発信している。															

令和5年度 長崎大学教育学部附属特別支援学校 学校評価アンケート結果

分野	番号	具体的な評価項目	職員								保護者							
			小学部		中学部		高等部		全体		小学部		中学部		高等部		全体	
			R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4
開 か れ た 学 校	41	学校は、大学と連携し、附属学校の特別支援教育に関して、センターとしての役割を果たしている。	3.7	3.2	3.5	3.5	3.3	3.2	3.5	3.3	/	/	/	/	/	/	/	/
		今後の方向性	○四附CO連絡協議会を年三回実施し、特別支援教育の推進に努めている。また、必要に応じて園内委員会や校内委員会、困難事例のケース会に参加している。															
	42	学校は、ホームページや学校だよりを通して、学校の様子を保護者や地域に発信している。	3.6	3.1	3.5	3.8	3.3	3.7	3.5	3.7	3.8	3.7	3.9	3.8	4.0	3.8	3.9	3.8
		今後の方向性	○ホームページの運用では、年間計画を作成し、本校の情報発信に努めていく。各学部のニーズを確認しながら、Teamsでの連絡帳など、保護者により様子を伝えることができるよう計画していく。															
	43	学校は、連絡帳や電話、一斉メールなどで、必要な情報を素早く保護者に伝えている。	3.9	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	4.0	3.8	3.9	3.8
		今後の方向性	○安心メールを活用し、適時情報を発信している。また、希望調査等はFormsなどを用い、電子化を図っている。今後は学校からの文書はすべて電子化を図っていきたい。															
	44	学校は、関係者や地域に対する学校公開を適切に実施している。	3.4	3.2	3.7	3.6	3.7	3.8	3.6	3.7	3.6	3.7	3.9	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7
		今後の方向性	○複数日設定し、より多くの関係者等に対して学校での様子を直接見てもらうようにしている。参観者からの質問等にも適宜対応している。															
	45	教職員は、保護者からの相談に対し、誠意をもって丁寧に対応している。	4.0	3.9	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.7	3.9	3.8	3.9	3.8	3.9	3.8
		今後の方向性	○保護者からの相談に丁寧に対応し、連携しながら児童生徒の支援に細やかに関わっていく。															
	46	教職員は、保護者や学校関係者に対し、「すみれ運動（スマイル・身だしなみ・礼儀）」を意識し、丁寧に対応している。	3.9	3.7	3.7	3.4	3.6	3.7	3.7	3.6	3.8	3.8	3.9	3.8	3.9	3.8	3.9	3.8
		今後の方向性	○教師自身が手本となって実践し、保護者や関係機関と良好な関係づくりができるよう継続していく。															